

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 高山陣屋跡保存修理事業費（公共）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 高山陣屋管理事務所 管理調整係

電話番号：0577-32-0643

E-mail：c21806@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 40,225 千円 （前年度予算額：25,859 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	25,859	12,929	0	1,330	0	0	0	11,600	0
要求額	40,225	20,112	0	2,293	0	0	0	16,000	1,820
決定額	40,225	20,112	0	2,293	0	0	0	16,000	1,820

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

高山陣屋跡保存修理事業（文化庁所管 史跡等保存整備事業）を実施し、国史跡高山陣屋跡を保存します。また、樽へぎ技術の教育普及活動や、そのために必要な道具を購入し、樽へぎの技術伝承に関する事業展開を図ります。

(2) 事業内容

【保存整備事業】

- ・屋根葺替工事（御役所北）
- ・屋根葺替工事監理（御役所北）
- ・屋根葺替工事設計（御門、門番所）

【技術伝承事業】

- ・樽へぎに係る教育普及イベント
- ・樽へぎ実演用道具購入

(3) 県負担・補助率の考え方

高山陣屋跡保存修理事業（文化庁所管 史跡等保存整備事業）
負担区分及びその財源
国庫支出金（文化庁） 2分の1
県費（使用料手数料） 2分の1

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	0	
旅費	212	事務旅費 212
需用費	32	消耗品 5、【技術伝承事業】 道具購入 27
備品購入費	88	【技術伝承事業】 道具購入 88
役務費	6	【技術伝承事業】 傷害保険 6
委託料	3,580	屋根葺替工事監理（御役所北）1,880、屋根葺替工事設計書（御門、門番所）1,700
工事請負費	13,023	屋根葺替工事（御役所北）13,023
原材料費	23,170	屋根葺替用くれ板購入22,770、樽へぎ実演用原木購入 400
補助金	0	
その他	114	報償費（その他）42、【技術伝承事業】 報償費 72
合計	40,225	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

高山陣屋跡保存修理計画

(2) 後年度の財政負担

計画的に保存修理を実施していくため、財政負担必要

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が事業主体となり、高山陣屋跡保存修理を適切に実施し、施設を広く公開する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

全国唯一、徳川幕府の代官所跡が現存する国史跡高山陣屋跡の保存修理を適切に行い、広く公開します。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①高山陣屋修繕計画（事業費）	—	78,640,100	69,474,000	25,859,000	63,317,000	100%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事（御役所南） ・屋根葺替工事監理（御役所南） ・屋根葺替工事設計（郡代役宅一部） ・耐震補強設計 ・屋根葺替工事前用材購入 <p>文化財保存の観点から適切に事業を行い、国史跡高山陣屋を良好な状態で維持保存することができた。</p>	<p>指標① 目標：72,683,000円 実績：72,445,520円 達成率：約99%</p>
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事（郡代役宅一部） ・屋根葺替工事監理（郡代役宅一部） ・屋根葺替工事設計（書物蔵） ・屋根葺替工事前用材購入 <p>文化財保存の観点から適切に事業を行い、国史跡高山陣屋を良好な状態で維持保存することができた。</p>	<p>指標① 目標：78,930,000円 実績：78,640,100円 達成率：約99%</p>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根葺替工事（書物蔵） ・屋根葺替工事監理（書物蔵） ・屋根葺替工事設計（御役所北） ・耐震補強工事 ・耐震補強工事監理 ・屋根葺替工事前用材購入 <p>文化財保存の観点から適切に事業を行い、国史跡高山陣屋を良好な状態で維持保存することができた。</p>	<p>指標① 目標：69,544,000円 実績：30,947,000円 達成率：約44%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存していくために、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	施設を良好な状態で維持保存し、193千人(令和4年度)の入場者に公開することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	専門家会議で助言や指導を受けながら保存修理を行い、効率的に事業を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設を適切に維持保存し広く公開していくために、専門家会議や文化庁の指導を受けながら事業を進めたい。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 年間193千人(令和4年度)の入場者がある国史跡高山陣屋跡を、県民の誇りとして維持保存し広く公開するために、適切に事業を行っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	